

宮城県感染症発生動向調査情報(第20週)

宮城県【平成27年05月21日】発行

宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2015. 5. 11 ~ 5. 17 ・ 第20週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙台市	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第17週	第18週	第19週	第20週
水痘	5 1.00	4 0.40	1 0.20				7 3.50	15 0.58	32 0.55	756	○→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎			1 0.20					3 0.12	4 0.07	148	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	76 15.20	38 3.80	31 6.20	12 6.00	18 6.00	7 1.40	15 7.50	238 9.15	435 7.50	9,949	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	7 1.40	2 0.20	2 0.40			1 0.20	1 0.50	25 0.96	38 0.66	291	→	○→	レ→	○
伝染性紅斑	2 0.40	6 0.60	7 1.40	1 0.50		6 1.20	1 0.50	17 0.65	40 0.69	1,004	◎→	◎→	レ→	○
突発性発しん	4 0.80	6 0.60	6 1.20	1 0.50	3 1.00	1 0.20	4 2.00	25 0.96	50 0.86	648	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ			2 0.40						2 0.03	17	→	→	→	
インフルエンザ	6 0.75	2 0.13	2 0.25	4 1.33		13 1.63	10 2.50	7 0.17	44 0.47	19,395	◎→	◎→	○→	○
咽頭結膜熱	1 0.20	4 0.40	2 0.40	1 0.50		6 1.20		7 0.27	21 0.36	312	→	→	→	
流行性角結膜炎			1 1.00					2 0.33	3 0.25	60	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34 6.80	18 1.80	8 1.60	5 2.50	3 1.00	15 3.00		79 3.04	162 2.79	2,867	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎							3 3.00		3 0.25	135	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症							2 0.08	2 0.03		325	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	6		1				2			◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病							1			《週報の詳報》宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html			
	不明発疹症							8						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			2					2	4	75				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群 (%)	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2015年 第18週		27.5	28.4	11.8	5.9	2.0	4.9	9.8	5.9	2.9	1.0	0.0	102
第19週		18.2	38.6	13.6	2.3	6.8	9.1	6.8	0.0	2.3	2.3	0.0	44
第20週		22.7	18.2	11.4	13.6	6.8	11.4	2.3	0.0	4.5	9.1	0.0	44

インフルエンザ定点

小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で95定点(県:51、仙台市:44)となりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第17週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(7.88)、山形県(5.65)、岩手県(4.06)が多い。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は72例と前週と比較して減少した。RSウイルス感染症: 報告数は704例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約79%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では山形県(6.57)、新潟県(5.95)、鳥取県(5.95)、静岡県(4.64)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では大分県(15.33)、福井県(13.91)、宮崎県(11.58)が多い。**水痘**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は富山県(0.97)、宮崎県(0.97)、大分県(0.67)が多い。**手足口病**: 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では島根県(4.26)、鳥取県(4.16)、佐賀県(3.04)が多い。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では滋賀県(2.13)、福島県(1.67)、埼玉県(1.49)が多い。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では富山県(1.80)、香川県(1.20)、秋田県(0.88)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は増加した。40都道府県から251例報告があり、年齢別では0歳(32例)、1~4歳(176例)、5~9歳(34例)、10代(6例)、50代(1例)、70歳以上(2例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

※男児、女児は6歳未満

1類感染症: 報告なし
2類感染症: 結核
仙南管内 男性1名
大崎管内 女性1名
登米管内 女性1名
仙台管内 女性1名

3類感染症: 報告なし
4類感染症: レジオネラ症
石巻管内 男性1名

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 男性2名、女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
病原体検出なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第17週採取分 (4.20~4.26)	第18週採取分 (4.27~5.3)	第19週採取分 (5.4~5.10)
RSウイルス	1件	1件	0件
アデノウイルス	3件	0件	0件
エンテロウイルス	0件	1件	0件
単純ヘルペスウイルス	2件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	0件	3件	0件
ヒトメタニューモウイルス	3件	1件	0件

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

高熱・咽頭痛・嘔吐を主症状とするA群レンサ球菌による上気道感染症で、特に学童期の小児に最も多く、学校や家庭などの集団での感染も多く、ヒトヒトの接触機会が増加するとき罹患しやすくなります。先週と比較し、患者報告数の増加がみられましたので、今後の動向に注意が必要です。

【感染性胃腸炎】

先週と比較し、患者報告数の増加がみられました。引き続き手洗いの徹底など予防対策に努めてください。